

会議録

会議の名称	令和２年度第２回野洲市子育て支援会議
開催日時	令和２年10月12日(月) 午前10時から午前11時45分まで
開催場所	野洲市役所 本館３階 第一委員会室
【出席者の氏名等】 ・野洲市子育て支援会議委員 (◎：会長 ○：副会長) 徳本京子委員、矢川裕美委員、小林美樹委員、辻川美穂委員、山口桂子委員、 ○水谷威彦委員、◎三上佳子委員、樽茶絹子委員、小島章愛委員 ※順不同、欠席２名（丸橋真紀委員、八木芳良委員） ・事務局（市）出席者 赤坂健康福祉部政策監、井狩健康福祉部次長 〔こども課〕西村課長、宮崎主席参事、松村主席参事、鎌田課長補佐、中野 ・傍聴者 １名	
【会議の目的・主旨】 ・議事 ○幼児教育・保育施設の整備に関することについて 野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育所施設整備計画（素案）【資料３】 【結果】野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育所施設整備計画は素案であることから、今回の議論を踏まえ、また財政協議等も踏まえ、より熟度の高い計画となるよう今後すすめていく。質疑応答等は次のとおり。 質問①：今回素案の計画ではあるが、施設の整備や園の定員設定により、令和６年度には待機児童の解消が図られるのか。 回答①：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画で令和６年度に待機児童ゼロを図ることとしており、施設整備を中心に保育定員を増やす計画である。今回の資料３の計画素案では施設の移転整備や民間による施設整備により保育定員360人を設ける計画としている。ほか既存の民間園の協力も得ながら定員の見直しを図っていく。 質問②：こども園のなかには、幼稚園と保育園それぞれの枠があるのか。 回答②：本市こども園では、３～５歳児の１クラスのなかに幼稚園部、保育園部の子どもたちがいて、前者は基本午後２時に、後者は基本午後６時に降園されるというもので、同じ地域の子どもたちは同じ小学校へ入学されるといったつながりもある。 質問③：育休は約１年から２年の間で取られ、それから職場復帰されることになるが、こども園が整備されると、育休復帰がしやすくなるのか。 回答③：施設整備により定員が増え、当然保育園に入りやすくなり、育休復帰もしやすくなると思われるが、現状として令和２年４月時点で待機児童が52名おら	

れる。また保育園への入所選考は保護者の就労状況等個々のケースによるところがあり、優先順位や点数化により入所が決まるところがある。

質問④：こども園の短時部、長時部における料金や利用等、公平感・不公平感はないのか。また次年度の入所申請は年1回の申込期間中に行うが、それ以外でも申し込みすることは可能か。

回答④-1：幼稚園部門（短時部）については、確保量があるので、申請いただければ基本入所が可能。また3～5歳児の保護者の就労時間が幼稚園預かり時間内で収まるのであれば、幼稚園預かりが保育園部門（長時部）の受け皿となる。このことから、保育園部に入所が難しくても幼稚園部では入所しやすく、料金は幼保無償化により差は基本的にない。次年度の入所申請については、入所調整に時間を要することから年1回としているが、転入される方や新たに就労される方等の随時申込は受け付けている。

回答④-2：令和元年10月から幼保無償化により、3～5歳は幼稚園であっても保育園であっても保育料が無償となっている。幼稚園預かりは、保育園と同様の保育の必要性が認められれば無償になり、保育時間も10時間近く利用できる。このことから3歳以上児については幼稚園、保育園ともに概ね利用時間も料金も大きな差異はないものとなっている。なお、0～2歳については無償化の対象外であり、そもそも幼稚園の対象年齢ではないので比較はできないところである。

質問⑤：受け皿を確保するなかで、保育士の配置が重要になると思われるが、保育士をどのようにして確保していくか、その見通しや考えについて伺う。

回答⑤：人材確保はどの自治体も大変悩ましいところであって、待機児童が発生する一因にもなっている。本市では三方よし人材バンクを立ち上げており、周知PRや臨時就職相談会を実施して人材確保に努めているところであるが、まだまだ人材不足であることから、今後も継続して取り組んでいく。

質問⑥：小学校、中学校、幼稚園等の施設の老朽化が言われており、その改修等財政面は大丈夫であるのか。

回答⑥：施設の整備については、順位を決めながら順番に整備計画を立て、年次毎に取り組むこととしており、そのなかで財政措置を図っていく。市で全て施設を整備することも考えられるが、財政面から民間事業者による整備も視野に入れながら進めていく。

事務局：今回一旦素案として資料3の計画をご議論いただいた。これを踏まえて、また財政協議や地元協議も詰めていきながら、次回の会議で計画決定させていただきたい。

・報告事項

○令和2年度地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について

（1）地域子育て支援拠点事業【資料4】

→資料4に基づき、事務局より報告。質疑応答等は次のとおり。

質問①：野洲市子育て支援センターのにこにこ広場が広がったとのことで、知り得ていなかったが、このことについて対象となる方への周知はされているのか。

回答①-1：野洲市子育て支援センターから発行している広報紙（にこにこだより）で周知を行っている。市ホームページでも周知しているところではあるが、少しPR不足ということもあるかもしれない。

回答①-2：令和2年夏に実施した野洲市子育て支援センターによるアンケート結果では、利用されたきっかけとして、にこにこだより、市ホームページ、知り合いから聞いた等それぞれ回答があり、そうしたところから知り得ておられると思われる。

質問②：子育て支援センターに関して、民生児童委員として赤ちゃん訪問時に周知案内している。またこのときにあわせて子育てに関する相談ができることも案内している。子育て支援センターについては、第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画において令和5年度以降に公共施設の空きスペースを活用し確保する予定とされているが、どこか見込みはあるのか。

回答②-1：計画では1カ所増やすとしているが、今回の面積拡大によって面積的な部分についてはクリアになったと考えられる。今後は駅前整備構想のなかに子育てに関する内容があるので、そこで検討できればと考える。

回答②-2：計画では潜在的なニーズも踏まえて、もう1カ所増やすとしているが、今回約2倍の面積拡大が図られたことから、何とか受け入れられるのではと考えている。新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、今後のニーズを注視しつつ、駅前地区における検討の余地もあることを申し添える。

質問③：子育て支援センターの利用拡充にあたって、新型コロナウイルス感染症対策の考え方について伺う。

回答③：現状は利用制限といった対策をとっているところであり、利用定員や利用時間の設定を行うことによって密にならないようにしている。今後も状況を見ながら臨機応変に対応していく。

質問④：面積拡大されたなかで相談数も増えているのか。また広がったことで監視の目が行き届いているのか、職員の配置人数は大丈夫であるのか。

回答④-1：新型コロナウイルス感染症対策で、ある程度人数制限していることもあり、監視や職員の配置は変わらず対応している。

回答④-2：参考までであるが、相談件数について、先の子育て支援センターによるアンケート結果では、電話相談、個別相談、広場での相談の回答がそれぞれ数件から十数件ある。

（2）放課後児童健全育成事業【資料5】

→資料5に基づき、事務局より報告。質疑応答は次のとおり。

質問①：学童保育所での指導員の配置や学校との距離について伺う。

回答①：学童保育所の施設は市による公設であるが、運営は野洲市社会福祉協議会に指定管理で委託している。このことから指導員は野洲市社会福祉協議会によって基準に沿った形で配置されている。施設の場所は、基本的に小学校敷地内もしくは隣接する場所にあつて、安全に配慮したなかで登所いただいている。降所時や長期休み中は保護者の方による送迎をいただいているところである。

意見：運営受託している者としての発言になるが、指導員の配置基準に沿った形で人員配置しているところである。学童保育では屋内、屋外の活動メニューがあり、場所の確保もできており、そうした活動において大きな問題はない。今後も人材確保に努めていく。

質問②：音楽室を利用して確保量の増を見込むとのことであるが、第1音楽室は椅子や机の他に楽器もあり、計算上の60人受け入れは、コロナ禍の現状も踏まえると難しいのではないかとと思われる。また音楽室の床カーペットからの埃によるアレルギー対策はなされているのか。それから見込量というのは、既に受け入れている数字を指しているのか。さらに北野小学校の大規模改修計画が遅れていると聞いているが、そのことによる学童保育所の整備計画の変更はあるのか。

回答②-1：北野小学校区は人口増を見込んでおり、今回の音楽室利用のみで充足できるとは考えていない。現状として確保量が図られたものとして報告させていただいた。北野こどもの家は老朽化施設であることから整備する計画をしているが、先の保育所施設整備のように財政面から優先順位を決めて進めていく。

回答②-2：音楽室を利用する期間は学校が春休みや夏休みであることから、第1音楽室の椅子等は当該期間中において片付けて利用している。音楽室の床カーペットからの埃によるアレルギー対策については、清掃はもちろんであるが、学童保育入所受付の際にアレルギーの確認をしており、個々に対応している。確保量の60人については、計算上の数字であり、実際は令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあつて利用者は60人を下回っている。北野小学校の大規模改修計画については、所管課に確認したところ令和5年度までは未定とのことである。このことからまずは音楽室を利用しながら、施設の更新時期を検討していく。

・その他

議事案件の素案「野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育所施設整備計画」について、次回の会議にて正式決定すべく、今回は12月もしくは令和3年1月頃を開催予定とし、日程調整させていただくことをお願いした。

以上

【提出された主な資料等】

- 資料1 野洲市子育て支援会議名簿（第4期）
- 資料2 野洲市子育て支援会議条例・規則
- 資料3 野洲市幼保一元化方針および幼稚園・保育所施設整備計画（素案）
- 資料4 令和2年度地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について（1）地域子育て支援拠点事業
- 資料5 令和2年度地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について（2）放課後児童健全育成事業